

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

REGZA

東芝ポータブルDVDプレーヤー

形名 **SD-P100WP**

取扱説明書



Li-ion

はじめに

準備

テレビを見る

ネットワークを
利用する

ディスクの
再生

接続

その他

このたびは東芝ポータブルDVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- お求めのポータブルDVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 最初に安全上のご注意をお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認のうえ、たいせつに保管してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本体の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

ルームトウシバ
お客様登録サービス「Room1048」に登録をお願いします！

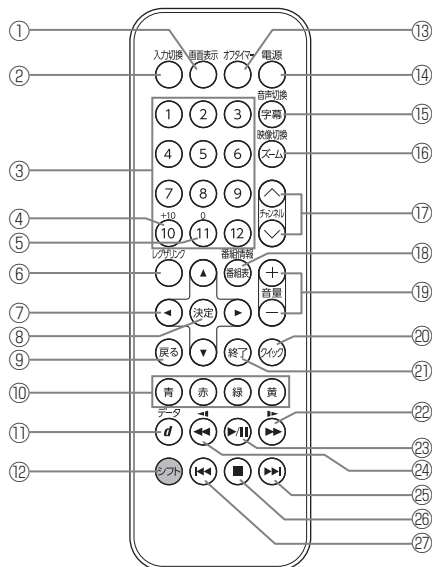
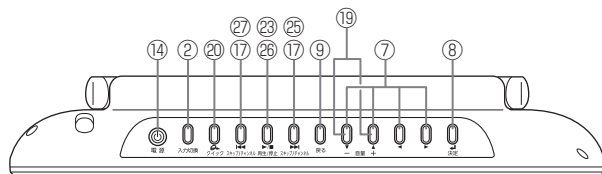
Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス※です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※お客様登録は、Web限定のサービスです。

>>>ご登録はこちらから!<<<

<http://toshibadirect.jp/room1048/>

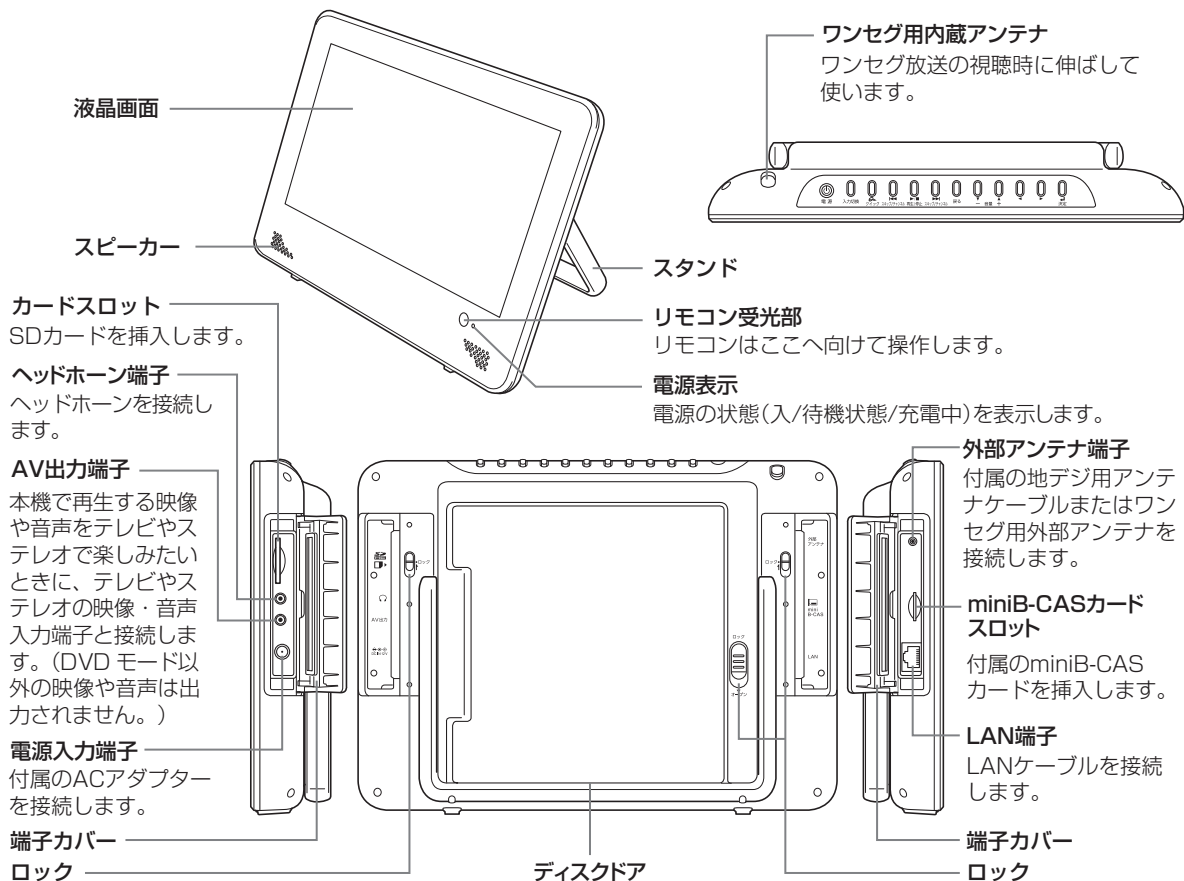
本体ボタン／リモコンボタン



おもな機能

① 画面表示	操作状況や情報の表示
② 入力切替	モード〔テレビ〕〔レグザリンク〕〔DVD/CD〕〔SDカード〕の切替え
③ 数字	数字の入力
④ +10	10の位の数字の入力
⑤ 0	数字0の入力
⑥ レグザリンク	レグザリンクモードに切替え
⑦ カーソル	項目や入力位置の選択
⑧ 決定	選んだ内容の決定
⑨ 戻る	前画面の再表示
⑩ カラーボタン	※データ放送受信時、画面に機能が表示されます
⑪ d	データ放送の表示・非表示
⑫ シフト	ボタンの機能切替え
⑬ オフタイマー	電源切りまでの時間設定
⑭ 電源	本体電源の入り切り
⑮ 字幕切替	字幕の表示と選択
⑯ 音声切替	音声の選択
⑰ スーム	再生映像の拡大
⑱ 映像切替	主・副映像の切替え
⑲ チャンネル	テレビのチャンネル切替え
⑳ 番組表	番組表の表示と切替え
㉑ 番組情報	視聴中の番組の情報を表示
㉒ 音量	音量の調節
㉓ クイック	モードや操作状況によって使える機能を表示
㉔ 終了	メニュー画面の終了
㉕ 再生の早送り	再生の早送り
㉖ スローモーション再生	スローモーション再生
㉗ 再生の開始と一時停止	再生の開始と一時停止
㉘ 再生の早戻し	再生の早戻し
㉙ スローモーション再生	スローモーション再生
㉚ タイトル、チャプター、トラックの頭出し	タイトル、チャプター、トラックの頭出し
㉛ 停止	再生の停止
㉜ タイトル、チャプター、トラックの頭出し	タイトル、チャプター、トラックの頭出し

■ : シフトを押した時の機能



付属品

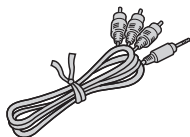
本機には以下の付属品があります。お確かめください。

防水リモコン×1個(SE-R0425)
コイン型電池(CR2025)×1個

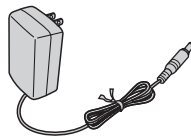


(電池はあらかじめリモコンにセットされています)

ミニピンAVケーブル×1本



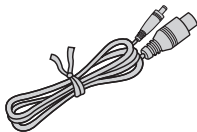
ACアダプター
(HDAD-120015-3H)*×1個



ワンセグ用外部アンテナ×1本



地デジ用アンテナケーブル×1本



地上デジタル専用miniB-CAS
カード×1枚



デジタル放送受信契約のための
受信者IDカードです。付属の説
明書についています。

取扱説明書(本書)×1冊



* ACアダプターは、付属のもの以外は使用しないでください。また、これらの付属品を本機以外に使用しないでください。使用すると大変危険です。

はじめに お使いになる前に必ずお読みください。

安全上のご注意.....	8
使用上のお願い.....	17
再生できるメディアと対応フォーマット.....	24
再生できるディスク.....	24
再生できるメモリカード.....	26
レグザリンク対応フォーマット.....	29

準備

リモコンの準備.....	32
ACアダプターの接続.....	34
内蔵バッテリーパックを使う.....	35
電源の入れかた／切りかた.....	36
モードを切り換える.....	37
モード共通の操作.....	38
音量を調節する.....	38
本機の電源を自動的に切る(オフタイマー).....	38
クイックメニューの使いかた.....	38
映像を調整する.....	39

防水について.....	40
-------------	----

テレビを見る

受信の前に.....	44
本機で受信できるテレビ放送.....	44
miniB-CASカードを入れる.....	46
アンテナを準備する.....	47
チャンネルを設定する.....	48
放送を見る.....	51
ソフトウェアのバージョンアップについて.....	55
テレビ機能の設定.....	56

ネットワークを利用する

ネットワークの接続.....	60
本機で利用できる機能.....	60
本機の設定をする.....	62
無線LANの設定方法.....	62
有線LANの設定方法.....	64
レグザリンクで見る.....	65

ソフトウェアの更新	65
-----------------	----

ディスクの再生

再生できるメディア	68
DVD、ビデオCD	69
音楽用CD、MP3/WMA/JPEG ファイル	72

接続

DVD再生映像をテレビの画面で見る	74
アナログ音声入力端子つきオーディオ機器と 接続する	75




その他

故障かな…？と思ったときは	78
仕様	82
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報	85
商品の保証とアフターサービス	105、裏表紙

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明




表 示	表 示 の 意 味
 危険	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図 記 号 の 意 味
 禁 止	“⊘”は、 禁止 (してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指 示	“●”は、 指示 する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注 意	“△”は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき



警告

- 異常に熱くなったり、異臭がしたり、煙が出たりした場合は、すぐにACアダプターをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。安全を確認してからお買い上げの販売店にご連絡ください。

- 内部に水や異物がはいったら、すぐにACアダプターをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

- 落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

- ACアダプターが発熱したり、コードが傷んだりしたときは、すぐに電源を切り、ACアダプターが冷えたのを確認してコンセントから抜く



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

使用するとき



警告

- 修理・改造・分解はしない



分解禁止

火災・感電の原因となります。点検・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

- 内部に異物を入れない



異物挿入禁止

ステーブル、クリップなどの金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴りだしたら、本機やACアダプターに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

- ピックアップレンズに目を近づけたり、レーザー光を見ない



禁止

本機は通常、レーザー光を見られないようになっています。万が一故障や異常によって、レーザー光が発光された場合に見つめたりすると、視力障害の原因となります。

- 歩行中や、乗り物を運転しながら使用しない



禁止

交通事故の原因となります。

- 車の中などで使用するとき、窓から付属のアンテナを出さない



禁止

他の人にけがを負わせる原因となります。

- 可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない



禁止

清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。

- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない



禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



禁止

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- 航空機内で使用しない



禁止

本機からの電波が運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない



禁 止

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

- 心臓ペースメーカーを装着している方は本機を装着部から22cm以上離す



指 示

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。



注意

- ディスクドアを閉めるとき、手を入れない



禁 止

手をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない



禁 止

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない



禁 止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 回転中のディスクには触れない



禁 止

ディスクドアを開いたとき、ディスクの回転が完全に停止していないことがあります。回転しているディスクに触れると、けがや故障の原因となります。

- 電源を入れる前には音量を最小にする



指 示

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 液晶表示画面が破損し、液体がもれてしまった場合は、液体を吸い込んだり、飲んだりしない



禁止

中毒を起こすおそれがあります。万一口や目にはいってしまった場合は、水で洗い流し、医師の診察を受けてください。手や服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

■ 本機で使用するSDカードやSDカードアダプター、miniB-CASカードは、幼児の手の届くところに置かない



禁止

誤って飲み込むと窒息やけがのおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

設置するとき



警告

■ 水のかかる場所で使用する時はACアダプターを使用しない



禁止

感電の原因となります。

■ 上にものを置かない



上載せ禁止

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない



禁止

本機が落ちて、けがの原因となります。

■ ひざの上などで使用しない



禁止

本機は多少温度が上がります。ひざの上などでのご使用は低温やけどの原因となります。低温やけどは、体温より高い温度のものを長時間あてていると紅斑、水泡等の症状をおこすやけどのことです。なお、自覚症状をとまなわないで低温やけどになる場合もありますので、特に肌の弱い方はご注意ください。

⚠ 注意

■ 温度の高い場所に置かない



禁止

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

■ 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 風通しの悪い場所に置かない



禁止

- 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
 - テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
 - 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
 - 壁に押しつけしないでください。

■ 移動させる場合は、ACアダプター・外部との接続コードをはずす



指示

ACアダプターを抜かずに運ぶと、コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続コードなどをはずさずに運ぶと、本機が落下し、けがの原因となることがあります。

ACアダプターについて

⚠ 警告

■ ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する



指示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターを分解・改造・修理しない



分解禁止

火災・感電の原因となります。

■ ACアダプターのコードは



禁止

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

■ 時々 AC アダプターを抜いて点検し、プラグやプラグの取り付け面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する



指示

プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。
(ACアダプターは待機状態のときに抜いてください。)

■ 通電中のACアダプターにふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かない



禁止

火災、故障の原因となることがあります。

■ コンセントからACアダプターが抜きやすいように設置する



指示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

⚠ 注意

■ めれた手でACアダプターを抜き差ししない



めれた手禁止

感電の原因となることがあります。

■ ACアダプターをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かない



引っ張り禁止

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。ACアダプターを持って抜いてください。

■ ACアダプターは、付属のものを使用する



指示

指定以外のACアダプターを使用すると、火災・故障の原因となります。付属のACアダプターは国内専用です。

- 旅行などで長期間で使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜く



プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

- 付属のACアダプターを本機以外の他の用途に使用しない



禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

- ACアダプターはコンセントの奥まで確実に差し込む



指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

コイン型電池について



警告

- コイン型電池は、幼児の手の届く場所に置かない



禁止

コイン型電池をお子様が飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

■ リモコンに使用しているコイン型電池は



禁 止

- 指定以外の電池は使用しない
- 極性表示 [(+)と(-)] を間違えて挿入しない
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中へ入れない
- 表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときはすぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ コイン型電池を廃棄する場合は、(+)と(-)にそれぞれビニールテープなどはる



指 示

そのまま廃棄すると、金属類でのショートによって、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。廃棄する場合は、地域や地方自治体などの規則に従って、定められた場所に出してください。

■ 開封したコイン型電池を保管・携帯するときは、ポリ袋などに入れる



指 示

そのまま保管・携帯すると、金属類でショートして、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。

小型の製品・部品について

⚠ 注意

■ 本機に付属されたりリモコンの電池ぶたなどの小型の部品は、幼児の手の届くところに置かない



禁 止

誤って飲み込むと窒息やけがの恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

使用上のお願い

取扱いに関すること

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
- ディスクドアの中にあるピックアップレンズには、触れたり、清掃をしたりしないでください。市販されているクリーニングキットも使用しないでください。機能に支障をきたす場合があります。
- 移動させるとき
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、振動が伝わらないように、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間で使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
必ず、ディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
- 長期間使用しないとき
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

- 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など、温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の映像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

自動車内での使用について

- 運転中は、操作したり、見たりしないでください。事故の原因になります。
- 移動中の車内などで本機を使用しないでください。振動などで、本来の動作ができなくなったり、ディスクが傷つくおそれがあります。
- 車内に放置しないでください。暑さや寒さで故障の原因となります。

結露(露付き)について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

たとえば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

■“結露”はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐに使用しない

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機のACアダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

お手入れに関すること

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。

レーザー製品の取扱いについて

- 本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
- 本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行うと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
- 本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

免責事項について

- 地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、損失については、当社は一切の責任を負いません。

廃棄について

本機にはバッテリーが内蔵されています。本機を廃棄する際は、以下の取扱説明書ダウンロードページより、「バッテリー廃棄について」をダウンロードし、説明に従ってバッテリーを本体から取りはずしてから廃棄してください。

<http://www.toshiba-living.jp>

本機の形名を入力し、検索してください。[DL] ボタンをクリックし、「取扱説明書ダウンロードに関するご説明」に同意していただくとダウンロードできます。

うまく取りはずせない場合などは、「東芝DVDインフォメーションセンター」（裏表紙）にご連絡ください。

バッテリーパックのリサイクルについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。



以下より、リサイクル協力店の検索を行なうと、全国各地のリサイクル協力店が簡単に見つかります。

一般社団法人JBRC ホームページ

<http://www.jbrc.com>

操作説明と実際の動作

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりには動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中に画面に[⊙]が表示されることがあります。[⊙]が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機のリージョン番号は2に設定されています。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に ⊕ のように2が含まれているか、または ⊕ が表示されていないと、本機では再生できません。(リージョン番号が不適応の場合には画面に表示ができません。)

本機の無線LANを使う際のお願い

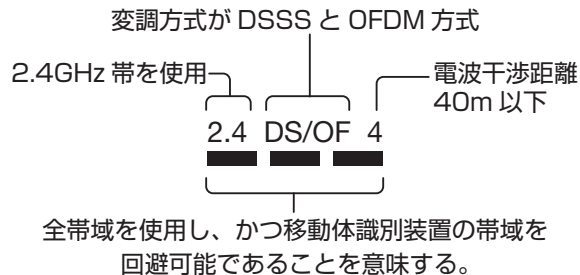
- SD-P100WP (以下、本機) は、日本国の電波法に基づく無線設備 (無線LAN) を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線LAN設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 本機の無線LANが使用する周波数帯は2.4GHz帯と5GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANをお使いになる際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してご使用ください。

本機の無線LANが使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

無線LANを使用する場合は、以下をお読みください。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを、ご確認ください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに無線LANの使用を停止し、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」（裏表紙）までお問い合わせください。

- 5GHz帯の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯の無線設備を屋外で使用することは、法令により禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯を使用せずに2.4GHz帯をご使用ください。
- 本機背面の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。



- 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。ご使用になる無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n			
J52	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯 (中心周波数帯)
IEEE802.11 b/g/n		1 ~ 13	2.412 ~ 2.472GHz
IEEE802.11 a/n	W52	36,40,44,48	5.18 ~ 5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26 ~ 5.32GHz
	W56	100,104,108, 112,116,120, 124,128,132, 136,140	5.50 ~ 5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

- 無線LANの性能や環境条件による影響など。
 - 無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。
 - 本機はIEEE802.11a/b/g/nの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
 - 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。
- 本機は公衆無線LANへの接続には対応しておりません。

無線LAN製品で使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- **不正に侵入される**

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

コンピュータウイルスなどを流しデータやシステム

を破壊する（破壊）








などの行為をされてしまう可能性があります。

- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

再生できるメディアと対応フォーマット

規格と使用方法をお確かめの上、正しくお使いください。

再生できるディスク

ディスク	DVDビデオ	DVD-RW	DVD-R	ビデオCD	音楽用CD	CD-ROM	CD-R/RW*
ロゴ							
大きさ	12cm 8cm	12cm		12cm 8cm	12cm 8cm (CDシングル)	12cm	
内容	・映像(動画)+音声  本機のリージョン番号は2です。「2」や「2」を含むリージョンマーク、または「ALL」が表示されたディスクが再生できます。	・映像(動画)+音声 Videoモード/VRモード CPRM対応 ・音声(MP3/WMAファイル) ・静止画(JPEGファイル)		・映像(動画)+音声	・音声	・音声(MP3/WMAファイル) ・静止画(JPEGファイル) *VIDEO CD (ビデオCD)フォーマットにも対応。ただしディスクによっては再生できないものもあります。	

お知らせ

- ・上記の表以外のディスクは再生できません。上記のディスクでも、規格外のディスクなどは再生できません。
- ・ファイナライズ(記録する側で記録終了情報を記録)を行っていないディスクは再生できません。ファイナライズについては、記録する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・使用するディスク、記録状態、記録方法やファイルの作成方法などにより再生できない場合があります。
- ・本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。



はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback Controlの略です。）ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

PBCなしビデオCD（バージョン1.1）

音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。

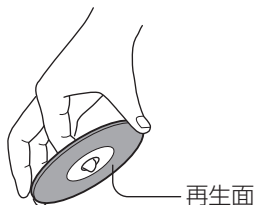
PBC付きビデオCD（バージョン2.0）

PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。

たとえば、図のように持ってください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
- ディスクを折り曲げたり、表面を傷つけないでください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、映像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず)することは、法律で禁止されています。

これに従い本機では、著作権保護技術を適用しています。ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きによって、複製した画像は乱れます。

本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっていきます。改造または分解は禁止されています。

“Wi-Fi CERTIFIED” ロゴは、“Wi-Fi Alliance” の認証マークです。

Wi-Fi Protected Setupのマークは、“Wi-Fi Alliance” の商標です。

“Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2”は“Wi-Fi Alliance”の商標または登録商標です。



再生できるメモリカード

カード	マーク(ロゴ)	内容
SD メモリカード		・ 音楽 (MP3、WMA)
SDHC メモリカード		・ 静止画 (JPEG)

SDロゴ、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

本書では「SD メモリカード」「SDHC メモリカード」を「SD カード」と記載しています。

- ・ miniSD カード、microSD カード／ microSDHC カードは、必ず専用のSD カードアダプターに装着してから本機に差し込んでください。(28 ページ)
- ・ 対応していない種類のメモリカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリカードを挿入した場合、本機およびメモリカードが故障・破損するおそれがあります。
- ・ SD-Video 規格には対応していません。他の機器(当社製を含む)で録画したSD-Videoのコンテンツは、本機では再生できません。
- ・ FAT16 または FAT32 以外でフォーマットされたSD カードは使用できません。
- ・ SD カードのフォーマット形式や使用状態などによっては、上記のカードでも本機で使用できない場合があります。カードの読み込みが正常に動作しない場合は、本機からSD カードを取り出してください。

■ 免責事項

- たいせつなデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でSDカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、損失したデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

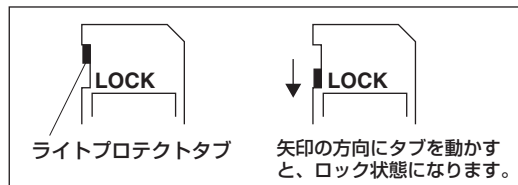
■ 取扱い上のご注意

- SDカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
- SDカードの読出し中、再生中は、電源を切ったり、SDカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- SDカードは精密部品です。折り曲げたり、落したりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。

- SDカードの金属部(金色の部分)にゴミや水、異物などがつかないように、また手で触れないように注意してください。よごれは乾いたやわらかい布でふいてください。
- SDカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したSDカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
- 長期間SDカードを使用しなかった場合、記録されているデータが読み出せなくなる場合があります。
- SDカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいSDカードをお求めください。
- SDカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

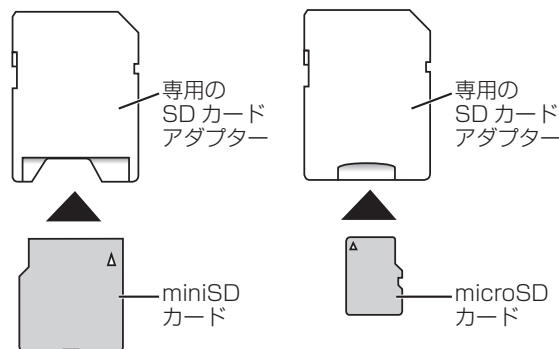
■ SDカードの誤消去防止について

たいせつなデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを「LOCK」に切り換えると、ロック状態(書き込み禁止状態)にすることができます。本機以外で記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。



■ miniSDカード、microSDカードのアダプター装着のしかた

miniSDカード、microSDカードはSDメモ리카ードの規格と互換性があり、専用のSDカードアダプターを装着するとSDメモ리카ードとして使用できます。本機で使用するときは、必ずアダプターを装着した状態でお使いください。



ご注意！

- microSDカードは直接SDカードアダプターに装着してください。microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、その上にSDカードアダプターを装着して使用しないでください。

レグザリンク対応フォーマット

■ 再生できる動画のフォーマット

映像フォーマット	音声フォーマット	最大解像度	最大ファイル数
MPEG2-TS	AAC、MPEG1 Layer II	1920 × 1080	1000 / フォルダ
MPEG2-TS(H.264/AVC)	AAC、ドルビーデジタル (AC3)	1920 × 1080	1000 / フォルダ
MPEG2-PS	リニアPCM、ドルビーデジタル (AC3)、 MPEG-1,2 Layer II	720 × 480	1000 / フォルダ

※機器によっては一部の動画の再生ができない場合があります。

■ 再生できる写真（静止画ファイル）

圧縮方式	JPEG 準拠
フォーマット	Exif Ver2.2 準拠、JFIF ver1.02 準拠
画素数	16 × 16 以上 4096 × 4096 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

※機器によっては写真の再生ができない場合があります。

準備

ご使用になる前の準備です。

- リモコンの準備
- ACアダプターの接続
- 内蔵バッテリーパックを使う
- 電源の入れかた／切りかた
- モードを切り換える
- モード共通の操作
- 防水について

リモコンの準備

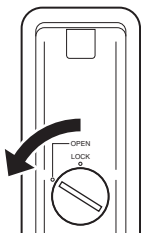
準備

付属のリモコンは、あらかじめ電池がセットされており、すぐにお使いいただけます。
新しいコイン型電池と交換する際は以下の手順で交換してください。

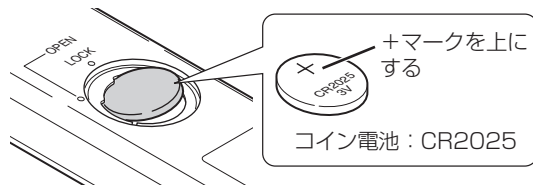
1 リモコンを裏返し、背面中心部分にあるふたを [OPEN] の方に回して開ける

フタの内部にパッキンが付いているため回りにくくなっています。

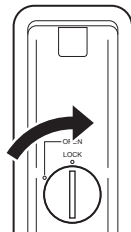
硬貨などを使って回してください。



2 古い電池を取り出し、新しい電池の⊕面を上にしてはめこみ、ふたを戻す

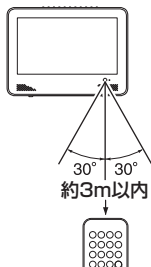


3 ふたを [CLOSE] の方向に回して閉める



リモコンの操作範囲

本体から以下の範囲内で操作してください。



距離：リモコン受光部正面から約3m以内

角度：リモコン受光部から上下左右約30度以内

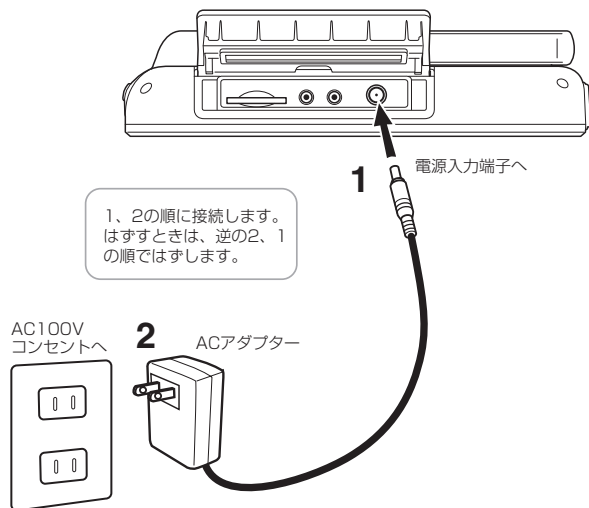
リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。

- 電池を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 分解しないでください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しいコイン型電池と交換してください。
- 指定以外のコイン型電池、または異物を挿入すると、リモコンの故障の原因となります。

ACアダプターの接続

準備

室内のコンセントへは、付属のACアダプターを、以下のように接続してお使いください。



警告

- 水のかかる場所で使用する時はACアダプターを使用しない
- ACアダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続する
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。
- 付属のACアダプターを使用する
指定以外のものを使用すると、火災・故障の原因となります。
通電中、ACアダプターの表面温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。
持ち運ぶときは、ACアダプターを抜き、温度が下がってから行ってください。

ご注意

- 付属のACアダプターは、本製品以外には使用しないでください。

内蔵バッテリーパックを使う

■ バッテリーパックの充電

本機にはバッテリーパックが内蔵されています。
バッテリーパックは充電してお使いください。特に、はじめてお使いになる前には、必ず充電を済ませてください。

1 本機の電源を切れた状態にする


本機の電源を入れたままではバッテリーパックは充電できません。必ず本機の電源を切ってから充電してください。

2 コード・ケーブル類が接続してあれば、すべてはずす

3 本機にACアダプターを接続する

充電が始まり、電源表示がオレンジ色に点灯します。電源表示がオレンジ色に点灯している間(充電中)は、ACアダプターを抜かないでください。

お知らせ

- 電池残量が少なくなると、バッテリー表示 [] が画面に表示されて点滅します。
- 充電は周囲の温度が5℃～35℃の環境で行ってください。
- バッテリーパックが満充電に近い状態では充電は始まりず、充電表示は点灯しません。

バッテリーパックの充電時間の目安	約5時間
------------------	------

- あくまでも目安です。バッテリーパックの状態や周囲の温度などによって変わります。

バッテリーパック使用時の放送連続視聴時間の目安	最大約5時間
-------------------------	--------

バッテリーパック使用時のDVD連続再生時間の目安	最大約5時間
--------------------------	--------

上記は目安であり、数値を保証するものではありません。
(条件：25℃、節電 切、ヘッドホーン使用、ネットワーク設定 [有線モード]、使用開始の時点)

- バッテリーパックの状態、使用条件、周囲の温度などによって変わります。
- 低温の環境で使用すると、連続再生時間および放送連続視聴時間が短くなります。
- バッテリーは消耗品です。

■ バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックには寿命があります。正常に充電しても使用できる時間が著しく短くなった場合は、お買い上げの販売店または裏表紙に記載の「東芝DVDインフォメーションセンター」にお問い合わせください。

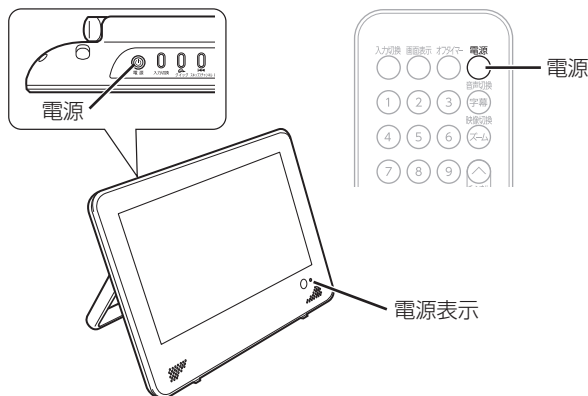
電源の入れかた／切りかた

テレビ放送を見る場合は、はじめに電源プラグをコンセントから抜いて電源が切れている状態で「miniB-CASカードを入れる」(46 ページ)と「アンテナを準備する」(47 ページ)を行ってください。

本体またはリモコンの「電源」を押す

本体の電源表示が点灯します。

電源を切るときは、もう一度押します。



電源LED	電源の状態
緑	入 / 番組表情報取得中 / ソフトウェアダウンロード中
消灯	切 (待機状態)
オレンジ色	バッテリーパックの充電中

- 本機の電源を完全に切るには、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

お買い上げ後、はじめて電源を入れたときは、[はじめての設定] 画面が表示されます。

テレビ放送を受信するには、47 ページのアンテナの準備を行ったあと、48 ページからの「チャンネルを設定する」でチャンネルを設定してください。

ディスクやSDカードの再生をするときは、37 ページの手順でモードを切り換えてお使いください。

ご注意！

- はじめてお使いになるときは、電源を入れる前に必ず本体のディスクドアを開け、中にある保護シートを取り出してください。

モードを切り換える

本機では、モードを切り換えることでテレビ放送やディスク、SDカードの映像が楽しめます。

1 「入力切換」を押す

モードの選択画面が表示されます。

- もう一度「入力切換」を押すと、選択画面が消えます。

2 方向ボタン(▲/▼)を押して、モードを選ぶ

モード	機能
テレビ	本機でテレビ放送を受信・視聴するとき。
レグザリンク	当社製REGZAなどDLNA対応機器に保存された映像や写真などを本機で視聴するとき。
DVD/CD	ディスクを再生するとき。
SDカード	SDカードに記録されたファイルを再生するとき。

3 「決定」を押す

選択したモードに切り換わります。

モード共通の操作

音量を調節する

「音量」を押す

＋：音量を上げる

－：音量を下げる

音量バーが画面に表示されます。

何も操作しないと、画面の表示は数秒で消えます。

本機の電源を自動的に切る(オフタイマー)

オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

「オフタイマー」をくり返し押して、設定する時間を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

切 → 00:15 → 00:30 → 01:00 → 01:30
→ 02:00

設定を解除する場合は、[オフタイマー:切]を選びます。

クイックメニューの使いかた

本機では、モードや操作状況によって使える機能を、一覧表示させて([クイックメニュー])その中から選べます。

どのモードでも共通の操作で使えます。

1 「クイック」を押す

機能や設定名が一覧表示されます。

内容はモードや操作状況で異なります。

クイック DVD
DVD設定
トップメニュー
メニュー
タイムサーチ
リピート
アングル
ランダム
映像調整
節電

クイック テレビ
テレビ設定
映像調整
節電

クイック レグザリンク
レグザ設定
映像調整
節電

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」を押す

3 項目の詳細を設定する

映像を調整する

本機の液晶画面が対象です。テレビなど外部機器につないで見る場合には、外部機器で調整してください。

- 1** 「クイック」を押して[クイックメニュー]を表示させる
- 2** 方向ボタン(▲/▼)で[映像調整]を選び、「決定」を押す
- 3** 方向ボタン(▲/▼)で調整したい項目を選び、方向ボタン(◀/▶)でお好みの設定値にする

▲/▼で選択	設定	◀/▶で調整
明るさ	0～20	暗くなる ⇄ 明るくなる
コントラスト	0～20	低くなる ⇄ 高くなる
色の濃さ	0～20	淡くなる ⇄ 濃くなる
色合い	0～20	紫っぽくなる ⇄ 緑っぽくなる
シャープネス	0～20	やわらかい映像になる ⇄ くっきりした映像になる
バックライト	0～20	暗くなる ⇄ 明るくなる
設定の初期化	-	「決定」を押すと、映像調整の設定をお買い上げの時の状態に戻します

- 4** 「戻る」を押して、[クイックメニュー]を消す

防水について

準備

製品本体およびリモコンは防水仕様となっています。

安全に正しくお使いいただくために、水場（水のかかる場所）でお使いになる前に以下の内容をよくお読みください。

- 本機はJIS防水保護等級IPX7*相当の防水性能を実現しています。

* IPX7（浸水に対する保護等級）とは

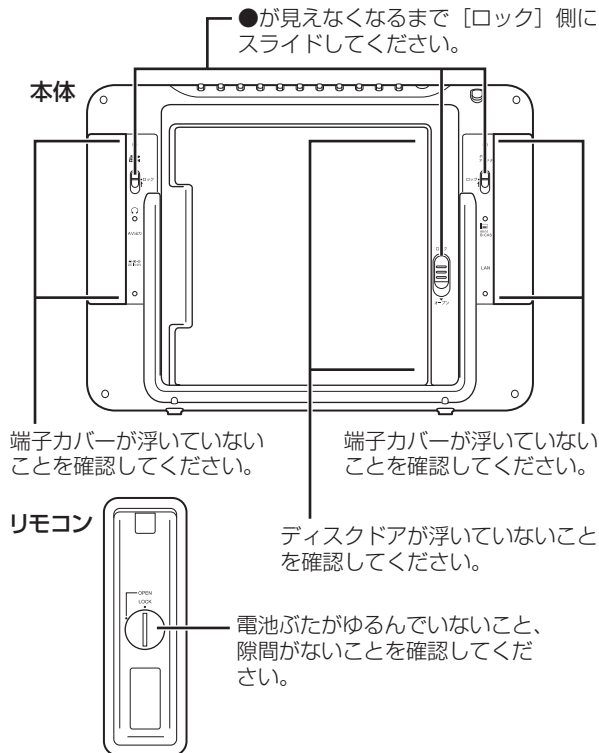
常温の水道水にて、水深1mに機器を静かに沈め、30分間放置して取り出したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

- ディスクドア、端子カバー、リモコンの電池ふたが開いていたり隙間があると、内部に水が入り故障の原因となります。

お使いになる前に、それぞれのカバーやふたのゴムパッキンにひび割れやその他異常が無いこと、ディスクドア、端子カバー、リモコンの電池ふたが完全にロックされていることを確認してください。

- お客様の誤った取り扱いによる故障の場合には、保証対象外となりますのでご注意ください。

- バッテリーで動作中にディスクドア、端子カバー（両サイド）が開いているときは、画面に注意喚起のメッセージが表示されます。



- ACアダプターは接続しないでください。
- ケーブル類は接続しないでください。
- ぬれた手でふたの開け閉めをしないでください。
- 水中に沈めないでください。
- 水中で操作しないでください。
- 誤って水中に入れた場合は、すぐに水中から出して乾いたやわらかい布でふいてください。
- 水滴が付いたまま放置しないでください。ご使用後は、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 洗剤、石けんやシャンプーなどがついた場合は、水流を弱めた常温の水道水で洗い流してから、乾いたやわらかい布でふいてください。
- 温水では洗わないでください。
- 湿気の多い場所に放置しないでください。
- 内部に水が入った場合、ただちに使用を中止し、「東芝DVDインフォメーションセンター」(裏表紙)までお問い合わせください。
- 防水性能を維持するため、2年に1度は防水に関する部品の交換をお勧めします。(有料)

テレビを見る

本機で地上デジタル放送の視聴ができます。

- 受信の前に
- 放送を見る
- テレビ機能の設定

受信の前に

本機で受信できるテレビ放送

本機では、地上デジタル放送とワンセグ放送を受信することができます。(地上アナログ放送、BS・110度CSデジタル放送を受信することはできません。)

屋内でお使いになるときは、各部屋にあるアンテナ線を本機に接続して高画質の地上デジタル放送を、外出先ではワンセグ放送をと、好きな場所で放送を受信してテレビ番組が楽しめます。

■ 地上デジタル放送の特徴

地上波のUHF放送(13ch～62ch)の周波数帯域を使った放送です。

最新のデジタル技術を活用することで、高画質(ハイビジョン放送)・多チャンネルのテレビ放送が可能です。

また、音声信号を効率よく圧縮して放送することができます、原音に近い高音質な音声が楽しめます。

(ただし、本機では対応していない内容があります。

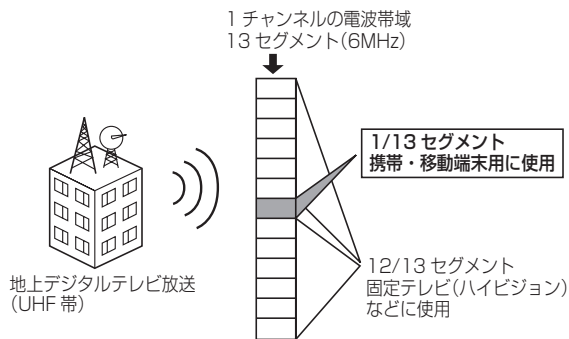
84 ページ)

お知らせ

- 地上デジタル放送を受信するには、本機の外に地上デジタル放送の受信に対応したUHFアンテナが必要です。
- CATV(ケーブルテレビ)の受信には、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。接続やご利用方法については、機器や会社ごとに異なります。ご加入しているCATV会社にお問い合わせください。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

■ ワンセグ放送の特徴

ワンセグは、携帯機器向け地上デジタルテレビ放送です。1チャンネル(6MHz)の帯域を13セグメントに分割し、そのうちの1セグメントを携帯機器向けに利用していることからワンセグと呼ばれています。



画質	携帯機器用の放送のため、多少画質が粗くなったりします。
受信地域	地域や放送局によって異なります。

- ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。
- ワンセグは、放送局によってはワンセグが放送されない場合があります。
- 放送波で放送されるワンセグの映像・音声の受信はお申し込みが不要な無料のサービスです。
- 「ワンセグ」サービスの詳細および受信可能なエリアについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

お知らせ

- ワンセグ放送には、ほとんどの番組にコピー制限があり、番組制作者などの著作権を守るための制御信号を入れて放送しています。本機はコピー制御信号に対応しています。
- 放送によっては、画面の上下左右に黒い帯が表示されます。

miniB-CASカードを入れる

本機に同梱されている miniB-CAS カードは、地上デジタル放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。

miniB-CAS カードは常時、本機に挿入しておいてください。

miniB-CAS カードの登録のしかたや取扱いについて詳しくは、カードが貼ってある説明書をご覧ください。説明書は、よくお読みのうえ、たいせつに保管してください。

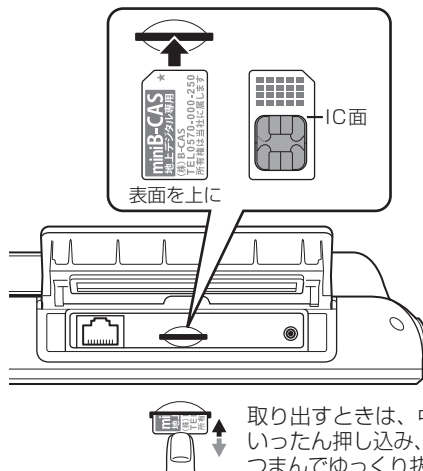
ご注意

- miniB-CAS カードスロットに miniB-CAS カード以外入れないでください。故障や破損の原因となります。
- 使用中に miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。

お知らせ

- miniB-CAS カードのカードの破損、紛失、盗難などの場合、および本機の廃棄などでカードが不要になった場合や登録名義を変更する場合は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。お問い合わせ先については、カードが貼ってある説明書をご覧ください。

- 1 miniB-CAS カードスロットのカバーを開く
- 2 本機の電源が切れていることを確認し、miniB-CAS カードの表面を上にして、「カチッ」と音がするまで奥へ差し込む



- 3 miniB-CAS カードスロットのカバーを閉める

⚠ 注意

- アンテナを接続するときは、必ず本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグはすべての接続が終わってから、コンセントに接続してください。
- 同軸ケーブル両端のコネクターのピンが曲がっていないか、確認してください。曲がったままで接続すると、ショートすることがあります。

アンテナを準備する

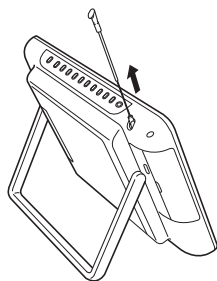
テレビ放送を視聴するときは、アンテナを使用してください。

お知らせ

- 地域・場所によっては受信状態が悪くなったり、全く受信できなくなる場合があります。

■ 内蔵アンテナを使う場合 (ワンセグ放送受信時)

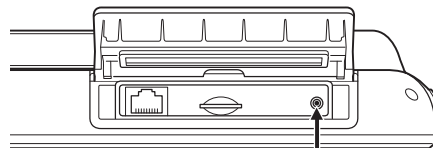
アンテナを真上に伸ばします。



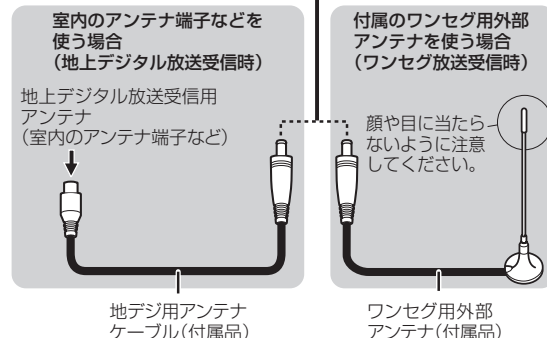
※ アンテナを無理に引き伸ばしたり、曲げたりしないでください。

■ アンテナ端子を使う場合

安定した受信のために、アンテナ端子への接続をおすすめします。



外部アンテナ端子へ



ご注意！

- 本機以外のポータブルDVDプレーヤーなどに接続しないでください。故障の原因となります。

お知らせ

- 室内アンテナをお使いになると、受信できない場合や受信が安定しない場合があります。
- UHFアンテナがすでに設置されていても、状況によってはアンテナの交換やアンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。受信障害の原因となることがあります。
- UHFアンテナは定期的な点検・交換をおすすめします。アンテナの設置場所は、屋外のため痛みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは痛みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 地上デジタル放送は一般的にUHFアンテナで受信しますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システムで伝送される場合もあります。詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどを使用する場合は、地上デジタル放送の伝送チャンネルに対応したものをお選びください。

チャンネルを設定する

テレビ放送を見るには、受信できる放送を本機に設定する必要があります。お買い上げ時は未設定です。以下の手順でチャンネルを設定してお使いください。一度設定すると、再設定しないかぎり、電源を切っても記憶されています。

はじめて本機の電源を入れたときは、テレビの「はじめての設定」の画面が表示されています。

1 お住まいの地方と都道府県域を選び、[次へ]を選んで「決定」を押す

2 数字ボタンを使って郵便番号を入力し、[開始]を選んで「決定」を押す

受信できる放送(地上デジタル放送/ワンセグ放送)のスキャンが始まります。

終了までしばらくかかります。

正常に終了すると、受信中の放送が映ります。

テレビ視聴の準備は完了です。「放送を見る」(51 ページ)にしたがって操作してください。

テレビを見るときは、必ず[テレビ]モードに切り換えてください。(37 ページ)

■チャンネルの表示番号を変える(地上デジタル放送のみ)

ふだんお使いのテレビと違うチャンネルに設定された放送局は、番号を変えて使うと便利です。

1 「クイック」を押す

2 [テレビ設定] を選び、「決定」を押す

3 [受信設定] を選び、「決定」を押す

4 方向ボタン(▲/▼)で[リモコンボタン割り当て]を選び、「決定」を押す

5 変えたい番号を方向ボタン(▲/▼)選び、「決定」を押す

6 方向ボタン(▲/▼)で、割り当てたい放送局を選び、「決定」を押す

7 方向ボタン(▶)で[完了]を選び、「決定」を押す

8 「戻る」をくり返し押して、メニューを消す

お知らせ

- チャンネルを設定し直すと、この設定内容は消去されます。

■ チャンネルを設定し直す

放送チャンネルに変更があった場合チャンネルを設定し直します。

チャンネルを設定し直すと、番組表やチャンネルに関するデータが初期化されます。

- 1 「クイック」を押す
メニューが表示されます。
- 2 [テレビ設定] を選び、「決定」を押す
- 3 方向ボタン(▲/▼)で[受信設定]を選び、「決定」を押す
- 4 方向ボタン(▲/▼)で[チャンネルスキャン]を選び、「決定」を押す

- 5 [スキャン開始] が選ばれていることを確認して、「決定」を押す

受信できる放送(地上デジタル放送/ワンセグ放送)のスキャンが始まります。

スキャンが終わるまでしばらくかかります。

- 6 スキャンが終了したら**方向ボタン**(▶)で[完了]を選び、「決定」を押す

- 7 「戻る」をくり返し押して、メニューを消す

※出張や旅行、引越などでふだんと違う場所でお使いのときは、[はじめての設定]からスキャンし直してください。

放送を見る

■ チャンネルを切り換える

「チャンネル(▲/▼)」または番号ボタンで選局する

地上デジタル放送では、1チャンネル分の周波数で最大3番組までを放送することができます。これらの番組(マルチチャンネル)は、「チャンネル(▲/▼)」で選局してください。

お知らせ

- 選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。
- ワンセグ用内蔵アンテナおよび付属のワンセグ用外部アンテナを使うときは、方向を変えて、受信状態が良くなるように調整してください。(電波の弱い地域や移動しているときなどは、受信状態が不安定になります。)

■ 音量を調節する

38 ページをご覧ください。

■ 地上デジタル放送/ワンセグ放送を切り換える

- 1 「クイック」を押す
- 2 「テレビ設定」を選び、「決定」を押す
- 3 方向ボタン(▲/▼)で「地デジ/ワンセグ切換」を選び、「決定」を押す

■ 地上デジタル放送の番組表を表示する

1 「番組表」を押す

各局の放送予定の一覧(番組表)が表示されます。

- 「戻る」を押すと、視聴中の番組に戻ります。
- 方向ボタンで番組表内を移動できます。番組を選んで「決定」を押すと、選んだ番組を見ることができます。
- 番号ボタンの「赤」を押すと表示されている番組表から1日先の番組表へ、「青」を押すと1日前の番組表へ切り換わります。最大約7日先までの番組表を表示できます。
- 「緑」をくり返し押すと、番組表の文字表示を拡大・縮小します。
- 「黄」を押すと、番組表メニューが表示されます。

項目名	方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」を押す
番組記号一覧	番組表で使われている記号の一覧を表示します。「戻る」を押すと番組表へ戻ります。
番組表取得	番組表を最新の状態に更新します。「決定」を押すと開始します。
マルチチャンネル/代表チャンネル	地上デジタル放送では1チャンネル分の周波数で最大3番組までを同時に放送することができます。 1チャンネル分の番組欄の表示を、3番組(マルチチャンネル)または、代表の1番組(代表チャンネル)に切り換えます。

2 「戻る」を押して、番組表を消す

■ 番組情報を見る

番組を見ているときに、「シフト」を押しながら「番組表」を押す

現在視聴している番組の情報が表示されます。

「戻る」を押すと、表示が消えます。

お知らせ

- 番組表情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 初めて視聴するときには、番組表が表示されないチャンネルがあります。そのチャンネルを一定時間視聴することで、番組表情報を取得できます。

■ 音声を切り換える

音声多重放送番組の視聴中に、音声を切り換えます。

「シフト」を押しながら「音声切換」をくり返し押して、聴きたい音声を選ぶ

■ 字幕を切り換える

字幕のある番組の視聴中に、字幕の表示／非表示を切り換えます。

「字幕」をくり返し押して、見たい字幕を選ぶ

お知らせ

- 字幕を表示中に一部の操作をすると、字幕表示は消えます。通常画面にもどると、ふたたび字幕を表示します。

■ 映像を切り換える

別の映像が含まれている番組の視聴中に、映像を切り換えます。

「シフト」を押しながら「映像切換」をくり返し押して、見たい映像を選ぶ

■ データ放送を見る

データ放送のある番組では、画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- ワンセグ視聴時にはご利用になれません。

データ放送について

デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。

データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)

地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。機能を使う場合はLANケーブルを接続して行ってください。無線ではご使用になれません。

1 データ放送のある番組を視聴中に、[d(データ)]
ボタンを押す

2 方向ボタン(▲/▼/▶/◀)で見たい項目を選び、
「決定」を押す

画面に表示された操作の説明に従って、[青]、
[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンで操作してください。

もう一度[d(データ)]を押すと、データ画面が消
えます。

データの自動受信について

地上デジタル放送の番組表や番組情報のデータ、および
本機のソフトウェアのバージョンアップ用データは、放
送電波で送られてきます。これらのデータは、本機の電
源を切って待機状態に変えると、自動的に本機が取得を
始めます。データ取得が始まると自動的に本機の電源が
はいり、本体の電源表示が緑色に点灯します。作業が終
わると、消灯の状態に戻ります。**データ取得中(電源表
示が緑色に点灯中)は、絶対に電源プラグを抜かないで
ください。故障の原因になります。**

長時間の使用のくり返しなどによって本機の待機状態が
極端に少ないと、データの取得が行われず、番組表の表
示が不完全になることがあります。また、電波や放送局
および本機の状態によって、データ取得が完了しない場
合もあります。このときは、電源を切って本機を待機状
態にし、約1時間放置してみてください。

- ・ お買い上げ直後や電源を入れた直後などには、番組
内容の表示に時間がかかることがあります。
- ・ アップデート用プログラムを受信したときは、その内
部処理が終わってから番組データを受信します。

ソフトウェアのバージョンアップについて

本機には、本機の機能を実現するためにソフトウェアが搭載されています。東芝が本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって機能の改善などを行うことがあります。

本機では、放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによって、バージョンアップを行います。

ダウンロードには、特に操作は必要ありません。本機が電波を検知して、自動的に行います。

自動ダウンロードは、本機の電源が「待機状態」(本体の電源表示が消灯)のときにだけ行われます。

ソフトウェアのダウンロードが始まると自動的に本機の電源がはいり、本体の電源表示が緑色に点灯します。

ソフトウェアのバージョンアップ作業が終わると、自動的に電源が切れ、本体の電源表示が消灯します。

ご注意

ダウンロード中(電源表示が緑色で点灯中)は、本機の電源プラグを抜かないでください。

ダウンロード中に電源を抜くと、作業が中止され、本機が正常に動作しなくなる場合があります。万一動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」(裏表紙)にご連絡ください。

バージョンアップについてくわしくは、以下の当社ホームページをご覧ください。

<http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/support>

テレビ機能の設定

テレビに関する機能の設定変更や、情報の確認をするためのメニュー画面です。

- 1 番組視聴中に、「クイック」を押す
- 2 [テレビ設定] が選ばれていることを確認し、「決定」を押す
- 3 以下の表の説明を参照して設定したい項目を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」を押す

設定の種類	設定項目	設定内容・手順
地デジ/ワンセグ切換		視聴する放送を切り換えます。
受信設定	はじめての設定	受信できるようにするための基本的な設定をします。
	リモコンボタン 割り当て	リモコンの番号ボタンに割り当てる放送局を設定します。
	チャンネルスキャン	放送チャンネルに変更があった場合はこの項目を選び、チャンネルを設定し直します。
	郵便番号設定	お住まいの地域に密着したデータ放送を視聴するための設定です。郵便番号を設定することで、地域が指定されます。
	アンテナ設定	アンテナの受信レベルを表示します。

設定の種類	設定項目	設定内容・手順
視聴設定	字幕	字幕放送の場合に優先して表示させる字幕を設定します。(設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしがって表示されます。)
	音声	音声多重放送番組で、主音声・副音声を切り換えます。
	映像	マルチビュー放送の場合に優先して表示させる映像を設定します。
	文字スーパー	文字スーパーの表示／非表示を選べます。地上デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、本機で表示する言語を第1言語、第2言語から選択できます。(設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送にしがって表示されます。)
	緊急放送切換	災害などの緊急時に緊急警報放送が放送されたとき、自動的に緊急警報放送に切り換わるように設定できます。地上デジタル放送受信時(「テレビ」モード時)のみ、この機能が働きます。
ネットワーク設定	接続モード	有線モード・無線モード を選択します。
	ネットワーク接続	ネットワークの接続を設定します。
	ネットワーク接続状況確認	ネットワークの接続状況を表示します。
機器情報	機器情報の表示	機器およびminiB-CASカードの情報を表示します。
	ソフトウェアの更新	最新のソフトウェアにアップデートします。

テレビ機能の設定(つづき)

設定の種類	設定項目	設定内容・手順
お知らせ	放送局からのお知らせ	デジタル放送に関わるお知らせがある場合、選んで「 決定 」を押すと、お知らせが表示されます。
	本機からのお知らせ	受信機のソフトウェアのアップデートなどに関するお知らせが表示されます。お知らせが1件もない場合は情報がないことを示すメッセージが表示されます。
設定の初期化	—	テレビやネットワークの設定をお買い上げの時の状態にもどします。

ネットワークを利用する

- ネットワークの接続
- 本機の設定をする
- レグザリンクで見る
- ソフトウェアの更新

ネットワークの接続

本機で利用できる機能

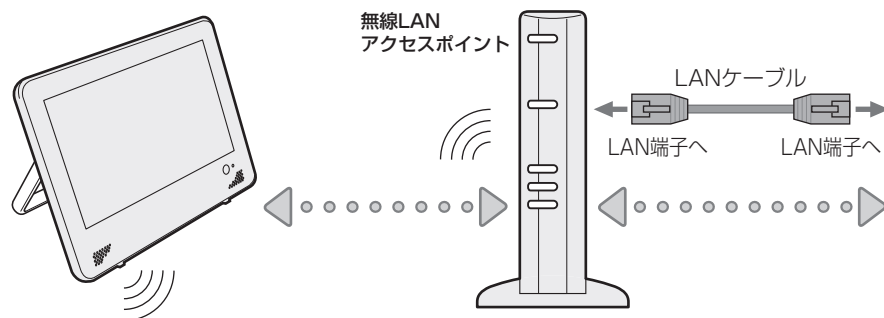
- レグザリンク・シェア視聴機能 (65 ページ)
- 地上デジタル放送のデータ放送 (53 ページ)
- ソフトウェアの更新 (65 ページ)

お知らせ

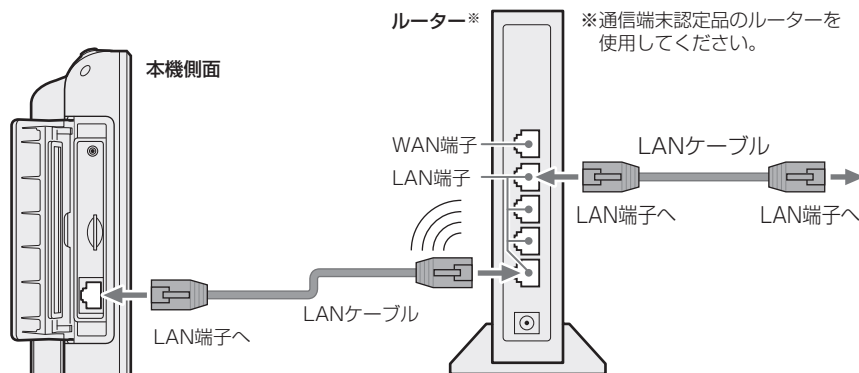
- 本機では、内蔵の無線LANで無線LANアクセスポイントに接続したり、LANケーブルでルーターに接続する事ができます。ただし、キッチンやお風呂場などの水が入る可能性のある場所では無線LANをお使いください。
- 接続機器側の設定や操作方法などについては、接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- SD-P100WPを無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。
- すべての無線LANアクセスポイントでの接続を保証するものではありません。
- SD-P100WPの設置環境によっては、無線LANを使用できない場合があります。

無線LANアクセスポイントまたは有線LANのブロードバンドルーターに、本機と機器を接続します。

無線LANの場合



有線LANの場合

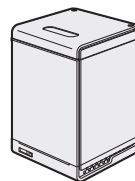


インターネットに接続している
モデムへ

DTCP-IP対応サーバー



DLNA認定サーバー



デジタルメディアサーバー (DMS)



本機の設定をする

ネットワークの設定には、以下の方法があります。

無線LAN

- WPS (プッシュボタン) 方式
- WPS (PIN コード) 方式
- 手動設定

有線LAN

- 自動設定
- 手動設定

以下の手順**1**～**5**で無線か有線か選んだ後、それぞれの設定方法をご確認ください。

1 「入力切替」を押し、方向ボタン(▲/▼)で「レグザリンク」を選び、「決定」を押す

2 「クイック」を押し、[レグザ設定] が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

3 [ネットワーク設定] を選び、「決定」を押す
地デジ視聴中に「クイック」を押しても[ネットワーク設定] が選択できます。

4 方向ボタン(▲/▼)で[ネットワーク接続]を選び、「決定」を押す

5 方向ボタン(▲/▼)で接続方法([無線LAN]か[有線LAN])を選び、「決定」を押す

無線LANの設定方法

■ WPS(プッシュボタン)方式の場合

1 [WPS (プッシュボタン) 方式] が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

※WPS (プッシュボタン)方式は、無線LAN機器との接続やセキュリティに関する設定をかんたんに行うことができる機能です。お使いの無線LANアクセスポイントが対応しているかどうかは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

2 画面の指示にしたがってアクセスポイントを操作し、[次へ] が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

自動設定を行います。

設定が終わるまではしばらくかかります。

3 自動設定が完了したら、[設定完了] が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

4 「戻る」を繰り返し押して、メニューを消す

■ WPS (PINコード) 方式の場合

- 1 方向ボタン(▲/▼)で[WPS (PINコード) 方式]を選び、「決定」を押す
- 2 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイント、またはPCに入力する
 - PINコードについて詳しくは、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

■ 手動設定の場合

- 1 方向ボタン(▲/▼)で[手動設定]を選び、「決定」を押す
- 2 方向ボタン(◀)で接続先一覧に入り、方向ボタン(▲/▼)で接続先を選び、「決定」を押す
 - ※[手動入力]から、お使いの無線LANアクセスポイントのSSIDを手動で入力することもできます。
- 3 [セキュリティモード]が選択されている事を確認し、「決定」を押す

- 4 方向ボタン(▲/▼)でセキュリティモード(暗号化方式*)を選び、「決定」を押す

* お使いの無線LANアクセスポイントと同じ暗号化方式を選んでください。

- 5 方向ボタン(▲/▼)で[認証キー*]を選び、「決定」を押す

* お使いの無線LANアクセスポイントの認証キーを入力してください。

- 6 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で英数字を選び「決定」、を繰り返してキーを入力し、完了したら画面右下の[入力終了]を選び、「決定」を押す

- 7 [入力完了]を選び、「決定」を押す

- 8 設定が完了したら、[設定完了]が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

- 9 「戻る」を繰り返し押して、メニューを消す

有線LANの設定方法

■ 自動設定の場合

- 1 [自動設定] が選ばれている事を確認し、「決定」を押す

自動設定が開始します。接続が確認されるまでしばらくかかります。

■ 手動設定の場合

- 1 方向ボタン(▲/▼)で[手動設定]を選び、「決定」を押す

- 2 画面表示にしたがって、IPアドレスからプロキシまでを入力する

入力する項目で「決定」を押すと、数字が入力できるようになります。

- 3 入力が完了したら、[完了]を選んで、「決定」を押す

設定を開始します。接続が確認されるまでしばらくかかります。

- 4 設定が完了したら、[設定完了] が選ばれている事を確認し、「決定」ボタンを押す

- 5 「戻る」を繰り返し押して、メニューを消す

ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

レグザリンクで見る

当社のレグザリンク・シェア配信機能対応機器に保存されている映像などを本機で視聴することができます。

- 1 「**入力切換**」を押し、**方向ボタン**(▲/▼)で[レグザリンク]を選び、「**決定**」を押す

レグザリンクモードに切り換わり、接続機器の確認が開始されます。

※リモコンの「レグザリンク」ボタンでもレグザリンクモードに切り換えられます。

- 2 接続されている機器の一覧が表示されたら、機器を選んで「**決定**」を押す
- 3 **方向ボタン**(▶/◀)で動画か写真を選び、「**決定**」を押す
- 4 **方向ボタン**(▲/▼)でフォルダを選び「**決定**」、コンテンツを選び「**決定**」を押す
コンテンツが再生されます。

お知らせ

- コンテンツや接続機器によっては再生できないことがあります。

ソフトウェアの更新

インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。機能を使う場合はLANケーブルを接続して行ってください。無線ではご使用になれません。

- 1 「**入力切換**」を押して[テレビ]モードにする
- 2 「**クイック**」を押し、[テレビ設定]が選ばれていることを確認し、「**決定**」を押す
- 3 **方向ボタン**(▲/▼)で[機器情報]を選び、「**決定**」を押す
- 4 **方向ボタン**(▲/▼)で[ソフトウェアの更新]を選び、「**決定**」を押し、[次へ]が出たら「**決定**」を押す
アップデートが開始されます。
- 5 アップデートの[完了]が出たら「**決定**」を押す

ディスクの再生

ディスクを再生してみましょう。

- 再生できるメディア
- DVD、ビデオCD
- 音楽用CD、MP3/WMA/JPEGファイル

再生できるメディア

「入力切換」を押して[DVD/CD]を選んで再生してください。		
DVDビデオ		おもに市販のソフト  リージョン番号が「2」または「ALL」以外のディスクは再生できません。
DVD-RW		VRモードの録画番組(CPRM対応) ビデオモードの録画番組
DVD-R		MP3(音声ファイル) WMA(音声ファイル) JPEG(画像ファイル)
ビデオCD		おもに市販のソフト
音楽用CD		おもに市販のソフト
CD-ROM		MP3(音声ファイル)
CD-R/RW		WMA(音声ファイル) JPEG(画像ファイル)
「入力切換」を押して[SDカード]を選んで再生してください。		
SDメモリカード		MP3(音声ファイル) WMA(音声ファイル)
SDHCメモリカード		JPEG(画像ファイル)

- 左表以外のメディアは再生できません。上記のメディアでも、規格外のメディアなどは再生できません。
- ファイナライズ(記録する側で記録終了情報を記録)を行っていないディスクは再生できません。ファイナライズについては、記録する機器の取扱説明書をご覧ください。
- 使用するメディア、記録状態、記録方法やファイルの作成方法などにより再生できない場合があります。
- 本機はNTSC テレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式(PAL、SECAM)表示のディスクには使用できません。
- FAT16またはFAT32以外でフォーマットされたSDカードは使用できません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- MPEG Layer-3オーディオ・コーディング技術は、ランフォード・IISおよびトムソンのライセンスによるものです。
- Windows Media™、及びWindows®ロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。



DVD、ビデオCD

1 ディスクドアのスライドを「オープン」の方向にスライドさせ、ディスクドアを開ける

2 ディスクをカチッと音がするまで確実にはめて、ディスクドアを閉める

3 「入力切換」を押し、方向ボタン(▲/▼)で[DVD/CD]を選んで「決定」を押し

4 「▶」(再生)を押す

ディスクによっては「▶」を押さなくても再生が始まります。

- トップメニューが記録されたディスクを再生したときは、メニュー画面が表示される場合があります。方向ボタン(▲/▼/◀/▶)(ディスクによっては番号ボタン)を押して、再生する項目を選び、「決定」を押してください。

再生を止める

「■」(再生の停止)を押す

[再生ボタンで続きを再生]が表示されます。「▶」を押すと、止めた続きを再生します。

- ディスクの最初に戻るときは、リモコンの「■」ボタンを2回押してください。

再生を一時停止する

リモコンの「▶/||」(再生の一時停止)を押す

早戻し／早送りする

「◀◀」(早戻し)または「▶▶」(早送り)を押す

本体キーの「◀◀」または「▶▶」の長押しでも、早戻しまたは早送りに切り換えられます。

押すたびに速さが切り換わります。

- 普通の再生に戻すには、「▶」を押します。

スローモーションで再生する

「シフト」を押しながら「◀◀/▶▶」(早戻し／早送り)を押す

押すたびに速さが切り換わります。

- 普通の再生に戻すには、「▶」を押します。

トップメニューを表示させる(DVD)

「クイック」を押して、方向ボタン(▲/▼)で[トップメニュー]を選ぶ

頭出しする

「I◀◀/▶▶I」(スキップ)をくり返し押す

拡大する／縮小する

「ズーム」をくり返し押す

ズーム位置を変えるには、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)を押します。

- 普通の再生に戻すには、再生中の画面から倍率表示が消えるまで、「ズーム」をくり返し押します。

音声を切り換える

「シフト」を押しながら「音声切換」をくり返し押す

字幕を切り換える

「字幕」をくり返し押す

字幕を非表示にするには、[字幕 切]を選びます。

再生する場所を指定する

1 「クイック」を押して、方向ボタン(▲/▼)で[タイムサーチ]を選び、「決定」を押す

2 再生したい時間を入力する

アングル(場面の角度)を切り換える(DVD)

この機能はマルチアングルで記録されている部分の再生中にのみお使いになれます。

1 マルチアングルで記録されている部分の再生中に「クイック」を押し、方向ボタン(▲/▼)で[アングル]を選び、「決定」を押す

2 方向ボタン(▶)をくり返し押して、アングルを選ぶ

- マルチアングル対応ディスクでも、ディスクにより記録されているアングルの数は異なります。

順不同に再生する

- 1 再生中に「クイック」を押し、方向ボタン(▲/▼)で[ランダム]を選び、「決定」を押す
 - 2 方向ボタン(▶)をくり返し押して、画面に[ランダム]または[シャッフル]を表示させる
- 普通の再生に戻すには、上記手順で画面に[切]を表示させます。

再生をくり返す

- 1 再生中に「クイック」を押し、方向ボタン(▲/▼)で[リピート]を選び、「決定」を押す
 - 2 方向ボタン(▶)をくり返し押して、画面に[チャプター]、[タイトル]または[オール]を表示させる
- 普通の再生に戻すには、上記手順で[リピート 切]を表示させます。

操作状況や情報を表示させる

「表示」をくり返し押す

DVDビデオディスクの視聴制限 (パレンタルロック)の設定を変える

- 1 「クイック」を押し、[DVD 設定]を選び、「決定」を押す
- 2 方向ボタン(◀/▶)で[システム設定]を選び、次に方向ボタン(▼)で[パレンタルロック]を選び、「決定」を押す
- 3 方向ボタン(▲/▼)でパレンタルロックの規制レベルを選び、「決定」を押す
レベル8：成人向け(すべてのソフトの再生)
}
レベル1：子供向けソフトのみ再生
レベルは対応ディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。
- 4 番号ボタンで設定した5けたの暗証番号(はじめてお使いになるときは99999)を入力し、「決定」を押す
- 5 「戻る」を押して、メニューを消す

音楽用CD、MP3/WMA/JPEG ファイル

音楽用CD

メディアを入れると、自動的にトラック1から再生が始まります。

MP3/WMA/JPEG ファイル

メディアを入れると、メニューが表示されます。ファイル/フォルダーを選んで「決定」を押してください。



メモ리카ードを再生するときは、「**入力切換**」を押して、[SDカード]に切り換えてください。

接続

他の機器と接続することで、映像や音声がいかに楽しめます。

- DVD再生映像をテレビの画面で見る
- アナログ音声入力端子つきオーディオ機器と接続する

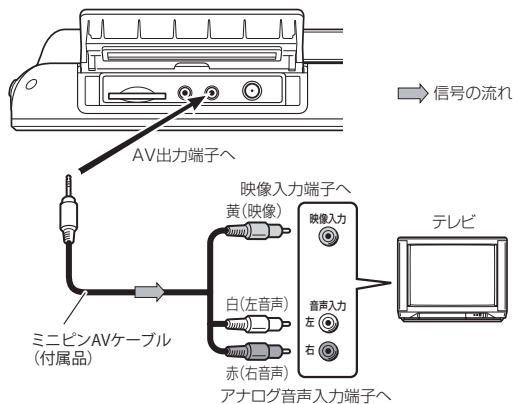
DVD再生映像をテレビの画面で見る

本機をテレビに接続して、本機の再生映像をテレビの画面で見られます。(DVDモード以外の映像は出力されません。)

お知らせ

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本体およびテレビの電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機とテレビは、直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクトターなどを通してご覧になると、コピー防止の働きによって正常な映像にならないことがあります。

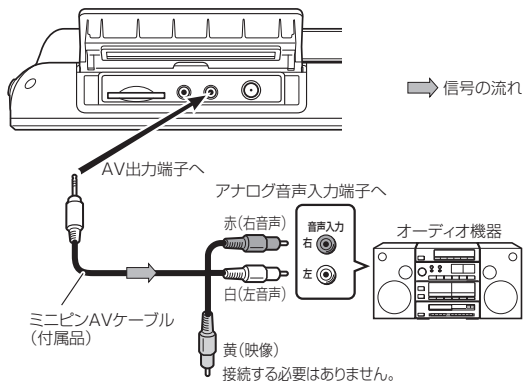
1 テレビを本機のAV出力端子に接続する



2 「入力切換」を押して、方向ボタン(▲/▼)で[DVD/CD]を選び、「決定」を押す

アナログ音声入力端子つきオーディオ機器と接続する

1 オーディオ機器を、本機のAV出力端子に接続する



お願い

- 他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機のACアダプターを抜き差しするときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 本機からの音声出力時は、突然の大音量によってスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音が入ることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。

2 「入力切換」を押して、方向ボタン(▲/▼)で[DVD/CD]を選び、「決定」を押す

その他

お使いになるうえで役立つ情報です。

- 故障かな…？と思ったときは
- 仕様
- 本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

故障かな…？と思ったときは

アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

	症状	原因	処置
電源・バッテリー	電源がはいらない。	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターが抜けている。 バッテリーパックが充電されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ACアダプターをしっかりと差し込む。 バッテリーパックを充電する。
	液晶画面が自動的に消えた。	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直す。
	バッテリーが充電できない。	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの状態が満充電に近い。 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの残量を減してから充電する。
	放送が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 アンテナが正しく接続されていない。 チャンネルをスキャンしていない。 お住まいの地域が地上デジタル放送の受信可能エリアではない。 共聴システムを使用していて、共聴システムが地上デジタル放送(パススルー方式)になっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> miniB-CASカードを正しい向きに入れる。 アンテナを正しく接続する。 チャンネルスキャンをする。 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 http://www.toshiba.co.jp/regza/naruhodo/ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナが必要な場合があります。)
テレビ	一部の放送が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地上デジタル放送が行われているかを最寄りの放送局にお問い合わせください。
	受信できなくなった放送局が番組表などから消えない。	—	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルスキャンをする。
	字幕が表示されない、または二重音声などが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> 視聴している番組が字幕表示、二重音声などに対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応していない番組の場合は、字幕設定、音声設定は機能しません。

	症状	原因	処置
テレビ	番組表が表示されない／ところどころ抜けている。	・番組表情報が取得できていない。	・電源を切って待機状態にして約1時間放置してください。(待機状態になったと同時に、番組表情報の取得を開始します。)ただし、電波や、放送局および本機の状態によっては、情報取得が完了しない場合もあります。このときは、時間帯を変えて再度試してみてください。
	映像が乱れる・止まる。	・アンテナの向きがずれている、アンテナ線がはすれたり、切れたりしている。	・アンテナの向き、アンテナ線の接続に問題がないか確認する。
	画面にはん点が出る。	・自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が考えられます。	・アンテナ線の位置を原因妨害源(道路など)から離れた位置に移動する。
	画面に縞模様がでる。	・近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。	・アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離す。
	音が出ない。	・ボリュームが小さすぎる。	・音量ボタンで調節する。
	電源を入れたときやチャンネルを切り換えたときに、すぐに映像が表示されない。	・受信した信号を画面に表示するための処理を行っており、チャンネルの切り換えに数秒かかります。	—
ネットワーク	ネットワークに接続できない	機器が正しく接続されていない。	無線LANアクセスポイントを通して正しく接続されているか確認する。
	機器にアクセスできない	DLNA認定サーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。	ネットワークに接続された機器が正しく接続されているか確認する。
	再生できない	コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。	再生できるコンテンツは 68 ページを参照ください。
	再生が途切れる	無線LAN設定、環境が正しくない。	無線LANアクセスポイントの性能や環境条件は 20 ページを参照ください。
再生	ディスク再生中、画像や音声乱れることがある。	・ディスクがよごれている。	・ディスクを取り出し、きれいにする。
		・早送り、早戻しをした。	・画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません。
		・再生中に衝撃を与えた、または移動した。	・画像や音声乱れることがありますが、故障ではありません。正常な画像や音声に戻らないときは、一度停止させたあと、もう一度再生してください。

故障かな…？と思ったときは(つづき)

	症状	原因	処置
再生	再生が始まらない。	• 本機のモードを [DVD/CD] 以外に設定している。	• 「入力切換」を押して、モードの一覧から [DVD/CD] を選ぶ。
		• ディスクがはいっていない。	• ディスクを入れる。
		• 本機で再生できないディスクがはいっている。	• 再生できるディスクの種類、テレビ方式やリージョン番号を確認する。
		• ディスクを正しく入れていない。	• ディスクを正しく入れる。
		• ディスクがよごれている。	• ディスクをきれいにする。
		• パレンタルロックが設定されている。	• パレンタルロックの規制レベルを変更する。
	ディスクで決められたとおりの再生ができない。	• リピート再生、ランダム再生、メモリ再生などを行っている。	• これらの再生のあいだは、ディスクで決められたとおりの再生ができないことがあります。
他の機器との接続	画像が出ない。(本機の液晶画面以外で)	• 接続しているテレビの入力切換が正しくない。	• テレビの入力切換を、本機からの画像が映るように切り換える。
	音声が出ない。	• ミニピンAVケーブルで接続している機器の入力切換が正しくない。	• ミニピンAVケーブルを接続している機器の入力切換を、本機からの音声が入力されるように切り換える。
		• ミニピンAVケーブルで接続している機器の電源がはいっていない。	• ミニピンAVケーブルで接続している機器の電源を入れる。
	接続しているテレビの画像が明るくなったり暗くなったり、ノイズが出たりする。(本機の液晶画面以外で)	• コピー防止機能が働いている。例えば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクトター、AVアンプなどを通してテレビでご覧になると、コピー防止の機能によって正常な映像にならないことがあります。	• 本機とテレビを直接接続する。

	症状	原因	処置
リモコン	操作ボタンを押しても動作しない。	・ 静電気やノイズなどの影響で本機が動作しなくなっている。	・ 電源を入り切りしてみる。または、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。
	リモコンが動かない。	・ リモコンが受光部に向いていない。	・ リモコンの送信部を本機の受光部に向けて操作する。
		・ リモコンと受光部の間が遠すぎる。	・ 約3m以内のところで操作する。
		・ リモコンの電池が消耗している。	・ 電池を交換する。
		・ 本体のリモコン受光部に直射日光など強い光が当たっている。	・ 本体を直射日光などを避けるような場所に置く。

仕様

■ 本体部

電源
入力端子DC12V (定格電流: 1.5A (最大: バッテリーパック充電時)) AC100V 50/60Hz (付属のACアダプター使用時)
本体質量
1.6kg
外形寸法
幅270×高さ199×奥行46mm (突起部含む) 幅270×高さ197×奥行46mm (突起部含まず) (奥行はスタンドを閉じた状態の奥行です。)
信号方式
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式
使用レーザー
半導体レーザー 波長650nm/795nm
使用条件
温度: 5℃～35℃
受信チャンネル
地上デジタル放送 UHF (13～62) ワンセグ放送 UHF (13～62) ケーブルテレビ方式 (パススルー) UHF (13～62)

■ 本体端子部

映像・音声出力 (AV出力)
1.0V (p-p)、75 Ω、同期負、 AV出力小型端子 (Ø3.5mm) × 1
ヘッドホン端子
ステレオミニジャック (Ø3.5mm) × 1
外部アンテナ入力
アンテナコネクタ × 1

■ 液晶画面部

画面サイズ
10.1V型ワイド
表示方式
透過型 TN形カラー
駆動方式
アモルファスシリコン TFT (薄型トランジスタ) アクティブマトリクス駆動方式
画素数
横 1024 × 縦 600 ピクセル (有効画素率 99.99% 以上)

■ 無線 LAN

規格
IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠 ARIB STD-T71 / ARIB STD-T66 ※従来の無線規格である J52 には対応していません。
伝送方式
OFDM 方式 / DSSS 方式
周波数範囲(中心周波数)およびチャンネル
IEEE802.11n / IEEE802.11a : 5.18GHz ~ 5.24GHz (36、40、44、48) [W52] 5.26GHz ~ 5.32GHz (52、56、60、64) [W53] 5.50GHz ~ 5.70GHz (100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140) [W56] IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b : 2.412GHz ~ 2.472GHz (1 ~ 13)
動作モード
インフラストラクチャーモード(アドホックモードは対応していません。)
セキュリティ
認証方式 : WPA2-PSK、WPA-PSK、Sharedkey 暗号化方式 : AES、TKIP、WEP (64bitまたは128bit)

■ 付属品

ミニピンAVケーブル …1 本
防水リモコン(SE-R0425) …1 個
コイン型電池 (CR2025) …1 個
ACアダプター (HDAD-120015-3H) …1 個
ワンセグ用外部アンテナ…1 本
地デジ用アンテナケーブル…1 本
地上デジタル専用miniB-CASカード…1 枚
取扱説明書…1 冊

- ・ 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ この取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なります。
- ・ 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材料名表示をしています。

デジタル放送で運用される各種サービスへの本機の対応は、以下のとおりです。

ケーブルテレビ方式	パススルー
字幕放送	○
データ放送	○
双方向(データ放送)	○
EPG(電子番組表)	○

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願いいたします。

ホームページアドレス

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

また、**本機**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。「EULA」の適

用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**本機**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、“as is”（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著

著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでの損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文(英文)

対応ソフトウェアモジュール	
Linux	Exhibit A
buildroot	
BusyBox	
uClibc	Exhibit B
libjpeg	Exhibit C
libuuid	Exhibit D
libupnp	Exhibit E
zlib	Exhibit F
OpenSSL	Exhibit G
md5	Exhibit H
wpa_supplicant	Exhibit I
hostapd	Exhibit J
iperf	Exhibit K

Exhibit A

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy,

distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate

copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies

the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would

not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free

Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the

commands you use may be called something other than ``show w'` and ``show c'`; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program ``Gnomovision'` (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 3, 29 June 2007

Copyright © 2007 Free Software Foundation, Inc. <<http://fsf.org/>>

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

This version of the GNU Lesser General Public License incorporates the terms and conditions of version 3 of the GNU General Public License, supplemented by the additional permissions listed below.

0. Additional Definitions.

As used herein, "this License" refers to version 3 of the GNU Lesser General Public License, and the "GNU GPL" refers to version 3 of the GNU General Public License.

"The Library" refers to a covered work governed by this License, other than an Application or a Combined Work as defined below.

An "Application" is any work that makes use of an interface provided by the Library, but which is not otherwise based on the Library. Defining a subclass of a class defined by the Library is deemed a mode of using

an interface provided by the Library.

A "Combined Work" is a work produced by combining or linking an Application with the Library. The particular version of the Library with which the Combined Work was made is also called the "Linked Version".

The "Minimal Corresponding Source" for a Combined Work means the Corresponding Source for the Combined Work, excluding any source code for portions of the Combined Work that, considered in isolation, are based on the Application, and not on the Linked Version.

The "Corresponding Application Code" for a Combined Work means the object code and/or source code for the Application, including any data and utility programs needed for reproducing the Combined Work from the Application, but excluding the System Libraries of the Combined Work.

1. Exception to Section 3 of the GNU GPL.

You may convey a covered work under sections 3 and 4 of this License without being bound by section 3 of the GNU GPL.

2. Conveying Modified Versions.

If you modify a copy of the Library, and, in your modifications, a facility refers to a function or data to be supplied by an Application that uses the facility (other than as an argument passed when the facility is invoked), then you may convey a copy of the modified version:

- a) under this License, provided that you make a good faith effort to ensure that, in the event an Application does not supply the function or data, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful, or
- b) under the GNU GPL, with none of the additional permissions of this License applicable to that copy.

3. Object Code Incorporating Material from Library Header Files.

The object code form of an Application may incorporate material from a header file that is part of the Library. You may convey such object code under terms of your choice, provided that, if the incorporated material is not limited to numerical parameters, data structure layouts and accessors, or small macros, inline functions and templates (ten or fewer lines in length), you do both of the following:

- a) Give prominent notice with each copy of the object code that the

Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.

- b) Accompany the object code with a copy of the GNU GPL and this license document.

4. Combined Works.

You may convey a Combined Work under terms of your choice that, taken together, effectively do not restrict modification of the portions of the Library contained in the Combined Work and reverse engineering for debugging such modifications, if you also do each of the following:

- a) Give prominent notice with each copy of the Combined Work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License.
- b) Accompany the Combined Work with a copy of the GNU GPL and this license document.
- c) For a Combined Work that displays copyright notices during execution, include the copyright notice for the Library among these notices, as well as a reference directing the user to the copies of the GNU GPL and this license document.
- d) Do one of the following:

- 0) Convey the Minimal Corresponding Source under the terms of this License, and the Corresponding Application Code in a form suitable for, and under terms that permit, the user to recombine or relink the Application with a modified version of the Linked Version to produce a modified Combined Work, in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.

- 1) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (a) uses at run time a copy of the Library already present on the user's computer system, and (b) will operate properly with a modified version of the Library that is interface-compatible with the Linked Version.
- e) Provide Installation Information, but only if you would otherwise be required to provide such information under section 6 of the GNU GPL, and only to the extent that such information is necessary to install and execute a modified version of the

Combined Work produced by recombining or relinking the Application with a modified version of the Linked Version. (If you use option 4d0, the Installation Information must accompany the Minimal Corresponding Source and Corresponding Application Code. If you use option 4d1, you must provide the Installation Information in the manner specified by section 6 of the GNU GPL for conveying Corresponding Source.)

5. Combined Libraries.

You may place library facilities that are a work based on the Library side by side in a single library together with other library facilities that are not Applications and are not covered by this License, and convey such a combined library under terms of your choice, if you do both of the following:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities, conveyed under the terms of this License.
- b) Give prominent notice with the combined library that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

6. Revised Versions of the GNU Lesser General Public License.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the GNU Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library as you received it specifies that a certain numbered version of the GNU Lesser General Public License "or any later version" applies to it, you have the option of following the terms and conditions either of that published version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library as you received it does not specify a version number of the GNU Lesser General Public License, you may choose any version of the GNU Lesser General Public License ever published by the Free Software Foundation.

If the Library as you received it specifies that a proxy can decide whether future versions of the GNU Lesser General Public License shall

apply, that proxy's public statement of acceptance of any version is permanent authorization for you to choose that version for the Library.

Exhibit C

"this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group"

Exhibit D

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright © 1991 Free Software Foundation, Inc.

51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the library GPL. It is numbered 2 because it goes with version 2 of the ordinary GPL.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Library General Public License, applies to some specially designated Free Software Foundation software, and to any other libraries whose authors decide to use it. You can use it for your libraries, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These

restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link a program with the library, you must provide complete object files to the recipients so that they can relink them with the library, after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

Our method of protecting your rights has two steps: (1) copyright the library, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

Also, for each distributor's protection, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free library. If the library is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original version, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that companies distributing free software will individually obtain patent licenses, thus in effect transforming the program into proprietary software. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License, which was designed for utility programs. This license, the GNU Library General Public License, applies to certain designated libraries. This license is quite different from the ordinary one; be sure to read it in full, and don't assume that anything in it is the same as in the ordinary license.

The reason we have a separate public license for some libraries is that they blur the distinction we usually make between modifying or adding to a program and simply using it. Linking a program with a library, without changing the library, is in some sense simply using the library, and is analogous to running a utility program or application

program. However, in a textual and legal sense, the linked executable is a combined work, a derivative of the original library, and the ordinary General Public License treats it as such.

Because of this blurred distinction, using the ordinary General Public License for libraries did not effectively promote software sharing, because most developers did not use the libraries. We concluded that weaker conditions might promote sharing better.

However, unrestricted linking of non-free programs would deprive the users of those programs of all benefit from the free status of the libraries themselves. This Library General Public License is intended to permit developers of non-free programs to use free libraries, while preserving your freedom as a user of such programs to change the free libraries that are incorporated in them. (We have not seen how to achieve this as regards changes in header files, but we have achieved it as regards changes in the actual functions of the Library.) The hope is that this will lead to faster development of free libraries.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, while the latter only works together with the library.

Note that it is possible for a library to be covered by the ordinary General Public License rather than by this special one.

GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Library General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which

has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version

instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a “work that uses the Library”. Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a “work that uses the Library” with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a “work that uses the library”. The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a “work that uses the Library” uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten

lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also compile or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

- c) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

- d) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on

consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Library General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT

PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990 Ty Coon, President of Vice
That's all there is to it!

Exhibit E

Copyright © 2000-2003 Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the

documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit F

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.1, November 17th, 2003

Copyright © 1995-2003 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler

jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

The data format used by the zlib library is described by RFCs (Request for Comments) 1950 to 1952 in the files <http://www.ietf.org/rfc/rfc1950.txt> (zlib format), [rfc1951.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1951.txt) (deflate format) and [rfc1952.txt](http://www.ietf.org/rfc/rfc1952.txt) (gzip format).

Exhibit G

LICENSE ISSUES

=====

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

=====

Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eyay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eyay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes

cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Exhibit H

Copyright © 1999, 2002 Aladdin Enterprises. All rights reserved.

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it

freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

L. Peter Deutsch
ghost@aladdin.com

Exhibit I

WPA Supplicant

=====

Copyright © 2003-2011, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is dual-licensed under both the GPL version 2 and BSD license. Either license may be used at your option.

License

GPL v2:

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報(つづき)

Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

(this copy of the license is in COPYING file)

Alternatively, this software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit J

hostapd - user space IEEE 802.11 AP and IEEE 802.1X/WPA/WPA2/EAP

Authenticator and RADIUS authentication server

Copyright © 2002-2011, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is dual-licensed under both the GPL version 2 and BSD license. Either license may be used at your option.

License

GPL v2:

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

(this copy of the license is in COPYING file)

Alternatively, this software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit K

Copyright © 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois
All Rights Reserved.

lperf performance test
Mark Gates
Ajay Tirumala

Jim Ferguson
Jon Dugan Feng Qin
Kevin Gibbs
John Estabrook
National Laboratory for Applied Network Research
National Center for Supercomputing Applications
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://www.ncsa.uiuc.edu>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (lperf) and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the University of Illinois, NCSA, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報(つづき)

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ Portions of this software are copyright © 1996-2007 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- ※ This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- ※ This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
- ※ This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- ※ この製品には、PPxP 開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- ※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。ただし、LGPL が適用されるソフトウェアについては、お客様ご自身の個人的使用のための改変にかかるデバッグのためである場合は、この限りではありません。

商品の保証とアフターサービス

保証書(別添)

・保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのおと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

・当社は、ポータブルDVDプレーヤー(SD-P100WP)の補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
・補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
・修理のために取りはずした部品は、当社で引き取らせていただきます。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間 お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～持ち込み修理

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについての相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

「故障かな…?と思ったときは」のページをご覧ください。なお異常のあるときは、使用を中止し、必ずACアダプターを抜いてから、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参のうえ修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容			
品 名	ポータブルDVDプレーヤー		
形 名	SD-P100WP	お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に		
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください		
お 名 前		電 話 番 号	
お買い上げ店名	お客さまへ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。		
☎ () —			

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
+	
部品代	修理に使用した部品の代金です。

商品の修理サービスは お買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

新商品などの商品選び、本機に関する取扱方法、故障と思われる場合のご相談や、販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝 DVD インフォメーションセンター』 [受付時間] 365日 / 9:00~20:00

(一般回線からの
ご利用は)



0120-96-3755

(フリーダイヤルは携帯電話・PHS など
一部の電話ではご利用になれません)

(携帯電話からの
ご利用は)



0570-00-3755 (通話料: 有料)

(PHS・一部の IP 電話などでは、
ご利用にならない場合があります)

[IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は] **03-6830-1855 (通話料: 有料)**

[FAXからのご利用は] **03-3258-0470 (通信料: 有料)**

- 「東芝DVDインフォメーションセンター」は株式会社東芝デジタルプロダクツ&サービス社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。

愛情点検



このような
症状は
ありませんか

- 再生しても音や映像が出ない
- 煙が出たり異常なおいや音がする
- 水や異物がはいった

- ディスクが傷ついたり取り出しができない
- ACアダプターが異常に熱くなる
- その他の異常や故障がある

お願い

故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

©2013 Toshiba Corporation

無断複製および転載を禁ず

株式会社 東芝

デジタルプロダクツ&サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TPD00007361

